

Ⅷ 平成 23 年度愛知県図書館サービス計画

この計画は、愛知県図書館の基本理念に基づき、23 年度に行うサービスを示し、達成すべき数値目標を明らかにするものです。22 年度のサービス計画の達成状況を検証し、その上で 23 年度の計画を示します。

1 22 年度の図書館サービスの評価

22 年度サービス計画では、21 年度に引き続き、「困難な経済状況の中で生活する県民が必要とする資料・情報を的確に提供する」「全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるよう努める」を基本に置き、以下の重点サービスを掲げました。

(1) 県民の生活や地域の経済活動に役立つ資料・情報を提供します

数値目標となる個人貸出点数と閉架資料の利用点数は、前年度より 1.9%減と目標（3%増）を下回りました。個人貸出点数は、資料費が増額された 18 年度から増加してきましたが、22 年度は頭打ちの状態となっています。

(2) 誰でもが資料探しや調べ物がスムーズにできるような環境を整備します

調べ方ガイドの総配布枚数は、4,910 枚と目標（3,300 枚）を大きく上回りましたが、レファレンス件数は前年度比 1.6%減と、目標（3%増）を下回りました。

(3) 市町村立図書館と連携し、全ての県民への資料の提供に努めます

市町村立図書館への協力貸出冊数と、当館を経由した市町村立図書館等の相互貸借資料冊数は 2%増に留まり、目標（5%増）には届きませんでした。

(4) 読書で県民生活が潤いあるものになるよう努めます

愛知県子ども読書活動推進計画（第二次）に掲げられている数値目標「貸出冊数」と「レファレンスの充実」は、89,592 冊、2,349 件と最終目標年次 25 年度の 9 万冊、4 千件に向けて、順調に推移しています。また、「IBBY（国際児童図書評議会）オナーリスト受賞絵本展」を開催しました。

(5) 図書館を知っていただくための事業を行います

自主企画展示にあわせて、外部との共催・協力などによる関連展示や講演会・上映会を目標どおり 42 回（共催 12 回）開催しました。来館者アンケートの「催し物」の満足度は、3.08 とこれまでで最も高い評価をいただきました。

入館者数は、2 年連続して前年度から減少し、目標の 3%増は達成できませんでした。インターネット等で資料の所在確認や貸出中資料の予約ができるため、確実に資料が入手できるのを確認して来館されるなど、利用方法の変化が考えられます。

(6) 全般

全般的な満足度については、アンケートでは 3.29 と目標を上まわり、県図書館の活動を高く評価していただきました。また、満足度をお聞きしたすべての項目で平均値が、「どちらかといえば満足」の 3 を上回り、「本や雑誌などの量・種類」も 3.18 とアンケートを開始した 17 年度の 3.02 から大きく伸びました、重要度の 3.52 にはまだ大きな開きがあります。今後、このギャップを埋める努力がさらに必要と考えられます。

ここ数年、設定した数値目標を大きく上回る実績をあげてきましたが、22 年度は達成できなかった項目がいくつか出ました。利用方法の変化もあり、伸びが踊り場に差し掛かっている状況も考えられるため、サービスの見直しが必要と考えられます。

2 23年度サービスの基本的な考え方

厳しい不況の継続に伴い、本県財政状況は一層厳しさを増しており、図書館関係予算も大幅な見直しを求められてきました。22年度までは、事業の見直しによる経費節減に努めてきましたが、その努力も限界となり、23年度の資料費は、7,294万円と約900万円(△11%)の削減となりました。資料や情報を提供する図書館として、資料費はその根幹をなすものであり、毎年実施している来館者アンケート調査でも「本や雑誌などの量・種類」の重要度が最も高く、利用者が重視する項目です。

23年度は、資料費の削減に伴う影響を最小限にとどめ、市町村立図書館などと連携しながら県内全域をサービス対象とする県図書館の役割が果たせる資料の収集と提供体制の充実に努めます。

3 特に重点をおいて取り組むサービス

(1) レファレンス(調査相談)を中心とする資料提供能力の充実

利用者の皆様の情報要求に対して、図書館の資料などを使って、資料や情報を探すお手伝いをするのが、レファレンスサービスです。県図書館では、これまで蓄積してきた豊富な資料と専門職員である司書の能力を生かしたレファレンスを、最も重要なサービスと位置付けています。県図書館を県民の皆様の課題解決に役立つ「知の拠点」として、職員の一層の能力向上を図るとともに、未所蔵の資料については、その資料や情報を持つ図書館などの機関を紹介するレフェラルサービスに努めます。

また、アンケートでは、50.2%の方が「必要なときは自分で探す」と答えています。こうした皆様にも、図書館での資料の探し方がわかる「調べ方ガイド」の作成などによる調べる環境の整備に努めます。

(2) 市町村立図書館や近隣県立図書館などとの連携による地域の資料提供能力の充実

県図書館は、県内全域の皆様のご利用を目指しています。そのためには、市町村立図書館や公民館図書室などのカウンターを通じた資料の提供やレファレンスが重要となります。こうした市町村立図書館などと連携したサービスを皆様に知っていただき、活用していただくことで、県内全域への県図書館の資料提供を一層伸ばします。

また、「資料収集方針」「資料選択基準」に基づくバランスの取れた資料収集に努めるとともに、選定から外れた資料については、県図書館が市町村立図書館や東海北陸地区の県立図書館、大学図書館に設けている搬送便を活用して借受け、県図書館で利用したり、市町村立図書館で他館の資料を提供するなど、県域全体の資料提供能力を強化します。

4 数値目標

特に重点とするサービスに対応する数値目標を、次のように設定します。

(1) レファレンスサービス

レファレンス件数は、入館者の減少傾向を踏まえ、前年度並みの38,500件、調べ方ガイドは新規作成により12%増の5,500枚の配布を目指します。(継続)

(2) 当館経由資料を含む県内市町村立図書館等への貸出

市町村立図書館等への貸出冊数と当館を経由して借受された冊数の合計を、60,400冊(前年度比103%)とします。(継続)

(3) 来館者アンケート調査における満足度

直接来館して利用される方の全般的な評価を計るための指標として、「全般的な満足度」3.3(前年度比0.01ポイントアップ)を目標とします。(継続)